

神戸市従業員労働組合下水道支部との交渉議事録

1. 日 時：令和6年10月17日（木）18：30～18：45

2. 場 所：コンコルディア神戸3階 会議室

3. 出席者：

（市）建設局総務課長、係長、下水道部経営管理課長、係長、他3名

（組合）市従下水道支部支部長、副支部長、書記長、他3名

4. 議 題：要求書に関する回答交渉

5. 発言内容：

（市） 神戸市従業員労働組合下水道支部の皆様におかれましては、それぞれの現場の第一線において、創意工夫を重ねながら、日々市民サービスにご尽力いただき、感謝申し上げます。また、市民生活が維持できるよう懸命に取り組んでいただいておりますことを重ねて御礼申し上げます。

さて、要求書をお受けした際にも申し上げた通り、本市の財政状況については、物価高騰への対策、公共施設の光熱費や公共事業の事業費の増加など、追加の財政需要が生じており、一層厳しくなることが見込まれております。

そのため、「行財政改革方針2025」を強力かつ着実に実行し、事務事業の見直しや業務プロセスの見直し、官民の役割分担の的確な見極め等に取り組むことで、スリムな組織・職員体制を構築していく必要があると考えております。

このような状況の中でも、都市機能の維持など、公の役割が強く要請される業務については、若手職員への技術継承を図りつつ、行政サービスの安定供給を果たすため、職員を新規採用しているところです。引き続き、行政需要や市民ニーズに応じた更なる公的サービスの充実に努めるため、官民の役割分担を明確化した上で、職員体制を見直し、市職員でなければならない、より付加価値の高い業務へこれまで以上に取り組んでいただく必要があると考えております。

それでは、要求いただいた内容の勤務条件に関する部分について回答させていただきますので、よろしくお願いいたします。

労働条件につきましては、今後も引き続き、健全な労使関係を構築しながら、皆様方と協議をしていきたいと考えております。一方、「行財政改革方針2025」に取り組むにあたり、業務改革の遂行や前例にとられない例外なき事務事業の見直し、官民の役割分担の的確な見極め等が重点項目の一つに定められています。

このようなことから「市民の安全安心を守る」という責務がある一方で、見直すべきものは見直し、市民から評価・支持される効率的な体制を構築していく必要があります。引き続き、職場の意見を聞きながら適切に対応してまいりたいと考えております。

労働安全衛生対策につきましては、職員が勤務するにあたって最も重要な事項のひとつであると認識しております。公務災害を発生させないために、未然防止が特に重要であると考えており、そのために局の安全衛生委員会の場合なども活用しながら、災害情報を局内で共有するなど、再発防止に向けた検証・対策を行ってまいります。また、職員が安全に業務を実施できるよう、必要な資格・免許の取得及び講習等の受講を引き続き推進していきたいと考えております。

しかし、残念ながら今年度も局内で労働災害が発生しており、業務に危険な作業が内在している

ことを改めて認識する必要があります。引き続き、労働安全衛生にかかる意識啓発に努めてまいります。

高齢者雇用につきましては、これまで培ってきた知識や経験、技術力、専門性を活かしながら、個々の適性やその能力に応じた役割を担っていただくこととしておりますが、同時に、加齢に伴う身体機能の低下が職務遂行に影響を与える場合には、その職務の特殊性にあった対応が必要であると考えております。いずれにしましても、引き続き職場の意見を聞きながら、責任をもって適切に対応してまいりたいと考えております。

以上、よろしくお願いたします。

(組合) ご回答ありがとうございました。

労働安全衛生対策について、下水道職場は死亡事故につながる可能性のある現場です。今後も注意喚起のため、他局や他都市の事例など、情報を流していただくようお願いいたします。

また、労働条件にかかわることは事前協議というところですが、こちらのアクションが足りていないのか、思ったことが伝わっていないと感じる時があります。今後も十分に打ち合わせの場を設け、お互いに協議できるようお願いいたします。